



「JT 技報」創刊 5 号の 発行にあたって

2025 年 12 月
代表取締役社長
鈴木 克彦

今年も「JT 技報」を発行する運びになりました。創刊 5 号です。このように、「JT 技報」を発行できるのも、お客様方あつての賜物と思っております。社員一同、心から感謝申し上げます。

当社は、再処理工場の運転・保守に対して、日本原燃株式会社と一体となって活動する中核会社として、2003 年 6 月に設立されました。現在は、濃縮工場、MOX 工場、廃棄物埋施設など、同社サイクル事業全般において安全・安定運転実現と合理的コストを追求すること、そして、地元企業との共生を図ることを、日本原燃株式会社とともに目指しています。そのために一貫して技術力と現場力に基づく実力を蓄え実績を重ねて参りました。

現在は、プラントの運転業務や機械、電気、計装などの保守業務に加えて、設計、エンジニアリングなどのカスタマーサービス、更新設備設置工事、技術習得・訓練に係る装置の開発／訓練センターの運営なども手掛けています。国内外の種々のメーカー殿、工事会社殿とお付き合いさせていただくとともに、地元企業との連携や相互研鑽を進めています。

また、原燃サイクル事業における各種事業において培ってきた技術を原燃サイクル事業以外の事業にも展開してきております。これにより、更なる技術力向上に努めていくとともに、新たに培った技術を原燃サイクル事業へフィードバックし、良い技術の循環を成そうとしています。

「JT 技報」は Web ベースでの紹介を念頭に置き、当社が取り組んでいる技術を中心に分かりやすく紹介することとしています。今年度は、対象技術の中でも、ドローンや孔内探査車を用いた点検に係る技術開発、マスタースレーブマニピュレータ操作技術競技大会など、当社の特徴的技術に関わるものに着目したテーマを 4 件取り上げて、ご紹介します。

『私たちジェイテックは持続可能なエネルギー社会の進歩発展に貢献し、地域・コミュニティと共に豊かな未来をつくります。』

当社が、今年度、定めたパーパスです。また、このパーパスの下、『「技術」と「人」で世界を驚かせる ROKKASHO』のビジョンを掲げています。このパーパス、ビジョンに基づき、これからも、社員一人ひとりの技術力向上に向けた活動と組織としての技術の蓄積・継承を行っていきます。加えて、当社技術をベースとしたサービスを行い、お客様の発展と当社の躍進に繋がるように、精一杯尽力していきます。

ぜひともこの技報をご高覧いただき、当社 HP の各記事とともに、当社の今を知っていただければ幸いです。